

大規模倉庫における効果的な訓練の実施推進について

枚方寝屋川消防組合予防部予防指導課

主な被害の大きい倉庫火災の発生状況

発生場所	発生年月日	建物延べ面積 (㎡)	建物焼損床面積 (㎡)	焼損棟数	死者数	負傷者数	覚知から鎮火までの時間	備考
埼玉県比企郡吉見町	平成7年11月8日	4,154	4,154	1	3	6	23時間	死者：消防職員2名、消防協力者1名
岐阜県笠松町	平成9年11月20日	26,012	18,497	1	0	0	12時間	
愛知県蟹江町	平成14年12月26日	11,389	11,409	2	0	0	14時間	
神戸市東灘区	平成21年6月1日	4,715	3,484	1	1	0	16時間	死者：消防職員1名
埼玉県さいたま市	平成23年4月10日	19,064	19,064	1	0	0	35時間	
愛知県蟹江町	平成26年11月29日	25,252	19,782	1	0	0	45時間	
埼玉県三芳町	平成29年2月16日	71,892	約45,000	1	0	2	296時間	
宮城県岩沼市	令和2年4月30日	43,836			0	0	約148時間	
静岡県吉田町	令和2年7月5日	6,857			4	4	約30時間	死者：消防職員3名、警察官1名
大阪府大阪市	令和3年11月29日	約56,000	約38,700		0	1	約128時間	

枚方市・寝屋川市の1年間（令和2年）の全火災焼損床面積は1,433㎡です。

大規模な倉庫で火災が拡大すると、消火に長時間を要し、甚大な被害が発生します。

◎火災を初期で抑えるため、実効性のある消防訓練をすることが必要です。

主な内容

- ✓ 火災の発生場所や燃焼物などを具体的に想定してロールプレイング形式の模擬的な通報訓練を実施。
- ✓ 屋外消火栓設備又は屋内消火栓設備を使用して実際に放水する訓練を実施。

※消火器のみでは消せない火災があります。
(消火能力が弱いため)
- 【推奨】 消防設備点検業者と調整し、消防設備の点検とあわせて放水訓練を実施すれば、使用設備の復旧等が円滑にできます。
- ✓ 防火シャッターが閉鎖している場合は、くぐり戸を介して地上まで避難する経路を把握するとともに、実際に当該経路を歩行することにより、全従業員が避難できることを確認する訓練を実施。

大規模火災における倉庫事業者による初動対応の失敗事例

- ・ 自動火災報知設備により火災の鳴動があった後、119番通報がおくってしまった（約7分）。
- ・ 自動火災報知設備の鳴動を止めてしまった。（火災を倉庫内の人に伝えられない）
- ・ 屋外消火栓を用いた初期消火の際、ポンプを起動させておらず、初期消火に必要な放水ができていなかった。
- ・ 自社管理の商品の移動や初期消火を行っていたため、119番通報をしていなかった。
- ・ 消火器の使用方法を知らなかった。
- ・ 屋外消火栓、屋内消火栓の使用方法を知らなかった。